

まだ間に合う、ストップ！ザ・高架化、実現しよう地下化

京王線の地下化で 緑のまちづくりを！

線路跡地に緊急時の避難(帰宅)路になる遊歩道を！
新宿から多摩川までのグリーンベルトで、緑と防災の街に！



都心から東京西部へと延びる京王線を地下化し、線路跡地を遊歩道(グリーンベルト)にすれば、緊急時の帰宅困難者の安全な避難路になります。また、安全で緑豊かな環境や新たな商業・観光地として街の活性化にもつながります。東京都は「地下化よりも高架化の方が事業費は安い」としていますが、未だにその積算根拠を明らかにしていません(裏面記事参照)。

未曾有の大震災や原発事故を経験した今、目先の損得だけでなく、後の世代に禍根を遺さない計画を東京都や国に求めましょう！

★京王線地下化の署名運動にご協力ください！★

東京都が2009年11月に行った京王線高架計画の素案説明会をきっかけに、騒音や環境、治安・防災面などにさまざまな問題がある高架計画に対して、京王線の「地下化」を求める沿線住民の運動が始まりました。その後、各地の住民運動が手をつなぎ、「京王線の地下化と緑のまちづくりを進める会」が発足し、京王線の地下化による開かずの踏切解消の実現と緑のまちづくりに取り組んでいます。会の活動にぜひ、ご参加・ご協力をお願いします！

京王線の地下化と緑のまちづくりを進める会

連絡先: TEL 090-2479-6117

E-mail: asunaroegg@gmail.com

HP: 京王線地下化を求める会 <http://keiosenchikaka.giving.officelive.com/default.aspx>

京王線地下化実現の会 <http://www.matsubara-1.org/>

<定例会のお知らせ>

「京王線の地下化と緑のまちづくりを進める会」では、毎月第3土曜日(原則)に定例会を行っています。参加を希望される方は、上記までご連絡をお願いします。次回は10月16日(日)18:00~上北沢区民センター会議室です。



地下で支える京王線



京王線問題 NEWS & TOPICS

鉄道高架は本当に安いのか？ 積算根拠を明らかにしない東京都



5月16～25日まで世田谷区内8会場で行われた京王線高架(連続立体交差化・複々線化)事業の計画案説明会では、参加住民より高架案に対するさまざまな疑問や質問が出されました。なかでも、都が「地下より高架の方が安い」(約300億円)とする事業費について、その積算根拠が明らかにされないことに対して「事業費の内容がわからないのに、どうして高架と地下を比較できるのか?」と参加者から多くの疑問の声があがりました。

計画案説明会で都が「情報開示しても理解されない」

さらに、都側からは「(事業費の)内訳を出したからといって、理解が得られるかわからない」(5月23日烏山北小学校)という住民無視の“暴言”も飛び出し、会場内は一時騒然となりました。

その後、6月の世田谷区議会でもこの問題が取り上げられ、保坂展人区長も「事業費の内容を出してほしいと都に求めている」と答弁、**田中良杉並区長からも情報開示が求められています**。このまま事業費が不透明な状態で、高架事業が進められてしまっているのでしょうか!?

「都民の意見を聴く会」で高架化への異論続出

9月30日に行われた京王線高架事業の環境影響評価準備書に対する「都民の意見を聴く会」(烏山区民センター)では、公募に応じた17人の公述人から、高架案についてさまざまな意見が述べられました。そのうち15人は、高架案に対して異論・反対を唱えるもので、改めて京王線を高架化した場合の多くの問題が浮き彫りとなりました。



住宅地では鉄道の地下化が時代の流れ

小田急線では、高架化反対運動の成果で、成城学園、東北沢～下北沢～世田谷代田間で地下化が決まりました。西武新宿線でも中井～野方間が地下に決まり、線路跡地を利用したまちづくりが進み、京王線でも調布で全面地下化の工事が来年度完了します。東急電鉄の奥沢地区でも地下化を検討しています。街の分断や高架がもたらす環境影響、高架下の治安や防災対策などで、地下化の優位性は明らかです。「進める会」では、笹塚～つつじヶ丘の高架計画を地下方式に変えるよう東京都に強く要望してきました。

鉄道の高架は大震災に耐えられるか？



東日本大震災では、東北新幹線の架線や線路など1200箇所の損傷が起き、高架橋が100数十箇所損壊して、鉄道高架のもろさが浮き彫りになりました。観測史上最大の地震を経験した以上、今回の都市計画案が構造上マグニチュード9.0に耐えられるのか大きな疑問です。今回の京王線の高架計画では、南側に隣接する民家との距離はわずか50cm開ければよいとされています。これで大地震が起きたら、高架の上に設置した電柱が民家に倒れ込む可能性や、電車が民家の上に転覆する危険すら想定されます。都市計画決定前に、是非とも高架計画を見直す必要があります。**今なら間に合います。**